

「私と研友会」

前田貞夫

1 大阪高等技術研修所創立の頃

大阪高等技術研修所(高研)は1959年(昭和34年)に設立されその年9月から開講された。そのころの時代背景を見ることで設立された趣旨も自ずと理解して下さるでしょう。

終戦後衣食住全て困窮し、冬には凍死、餓死した死体が大通りに放置されている情景を見ていた中学生の私はただ‘滅び行く日本’としか考えられませんでした。幸せ豊かさなど想像もできず外国はどうか知りたいとき、唯一入ってくるアメリカの物の豊かさと技術力の高さに驚き「なぜこの国と戦争などしたのか？」腹立たしさと、どうすれば良いのか不安を覚えていました。その時一つの励みとして湯川博士のノーベル賞受賞1949年(昭和24年)は、理系の仕事を選ぼうとしていた私を勇気づけました。そして不幸なことです、その翌年から4年間の朝鮮戦争(1950～1953)によって日本の企業、特に製造業は活力を得たのでしよう。

「日本は知恵と技能で加工する貿易立国」をするのだと声高に叫ばれ進められて行きました。しかし太平洋戦争で多くの優れた技術者を失っていましたし、当時大学の理系の学部はまだ少数の公立校にあるのみで技術者の絶対数は不足しており企業活動に支障を来していたのです。企業経営者が「現在の企業内現場技術者に時代が要請する新しい知識を再教育しよう」との考えから大阪で府、市と多くの大学の協力を得、世話団体として過去にも技能教育の実績がある大阪工業会に事務局を依頼したのです。



2 大阪高等技術研修所の発足

1959年(昭和34年)9月に一期生の研修が始まりました。

一期生は「生産機械科」「工業材料科(後に金属材料科)」「工業技術科」の3科で発足しました。

「工業技術科」は文科系大卒者へ技術情報を与えるために設けられました。

開講の準備は大変あわただしかったようで、開講した後、色々と運営・評価・表彰の規定が定められていきました。

翌年の修了式で皆勤、精勤、成績優秀の各賞が渡され会社にも報告されたので「そんなん初めから云うといて呉れや！」と残念がった人も多かったようです。

研修生選抜の入所試験は7月だったと記憶しています。当時堂島にあった大阪商工会議所の大講堂で筆記試験を受けましたが、その頃冷房など無く事務局から「上着は取っても良い」と了解を得、中にはステテコ姿で一日頑張った人も居ました。

私は生産機械科を受けました。私は大津ゴム工業(株)[オーツタイヤ(株)]でタイヤの走行試験を担



昭和37年6月当時の研修会館

当していました。昭和33年起工で始まった名神高速道路(日本最初の高速度道路、栗東～尼崎間の開通は昭和38年)で使用可能な車を完成させるため自動車メーカーから各部材メーカーまで真剣勝負の時でした。私は機械類の事を知らなかったため、会社から「機械の勉強をして来い！」と指示され「生産機械科」を受験しました。定員30名に対し受験生200名余り、受験生は会社を代表している気持ちもあって真剣そのものでした。研修教室は大阪府立工業奨励館の江之子島敷地内にあった木造二階建ての二階部分で、冬は各部屋にガスストーブが置かれたにせよ寒く、熱く、騒がしい環境でしたが真面目に新しい知識を習得すべく励んでいました。

3 研友会発足

私がか社で担当していた高速走行試験に必要な知識、装置の内幾つかは、研修生であった時出講されている講師の大学へ押しかけて教わったものです。

各種の試験が完了した時、心から「助かった！」と思いました。この有利な条件を研修後も維持したい気持ちから事務局とも話合ったところ、事務局も折角の講師、研修生、事務局の関係を長く続けられるよう同窓会の設立を検討されていたのです。

昭和35年夏修了旅行で舞鶴の造船所への一泊旅行があり自衛艦の建造現場を見学しました。宿舎の大広間で会食が終わった後、私が音頭取りになり「研友会」設立を提案し満場一致で承認されました。会長は「工業技術科」修了で元駆逐艦艦長も務められた小出氏にお願いし、私は実務担当の副会長として以後9年間会の運営に携わりました。この9年間の経験は会の運営、各種の折衝、新しい知識等他では得られないであろう経験でした。

研友会初期に特筆すべきものとして、新しい知識、機械技術の講習会開催があります。これらの成功のお蔭で研友会の運営資金も潤沢になりました。

特に当時未開拓の領域であった[油圧での駆動、精度の高い機械装置の調整技術]の講習会は多くの企業の関心を呼び受講者を受け入れるため2度開催する事となりました。

4 研友会主催の海外旅行

研友会主催で数多く海外旅行をしてきましたが、私が参加したのは
☆東南アジア(シンガポール、タイ、インドネシア、香港)1978/12/2～11
☆アメリカ(ロスアンゼルス、サンフランシスコ)1983/11/14～22
☆中国(北京、西安、上海)1989/5/1～7
の3回で、どの旅も想いで多い素晴らしい旅でした。

4-1 東南アジア

戦後我が国は欧米の事情を知る情報には恵まれましたが、アジアの情報に余り知り得ませんでした。

東南アジアはかつて戦場であり良くも悪くも日本の足跡があるところであって初めて訪れる私には大変関心の高い国々だったので。日本が指向していた欧米の文化とは異なる文化を持ち風土、生活、人情を見聞きして親近感を覚えもっとアジアを知るべきだと思いました。



出発前の大阪国際空港

4-2 アメリカ

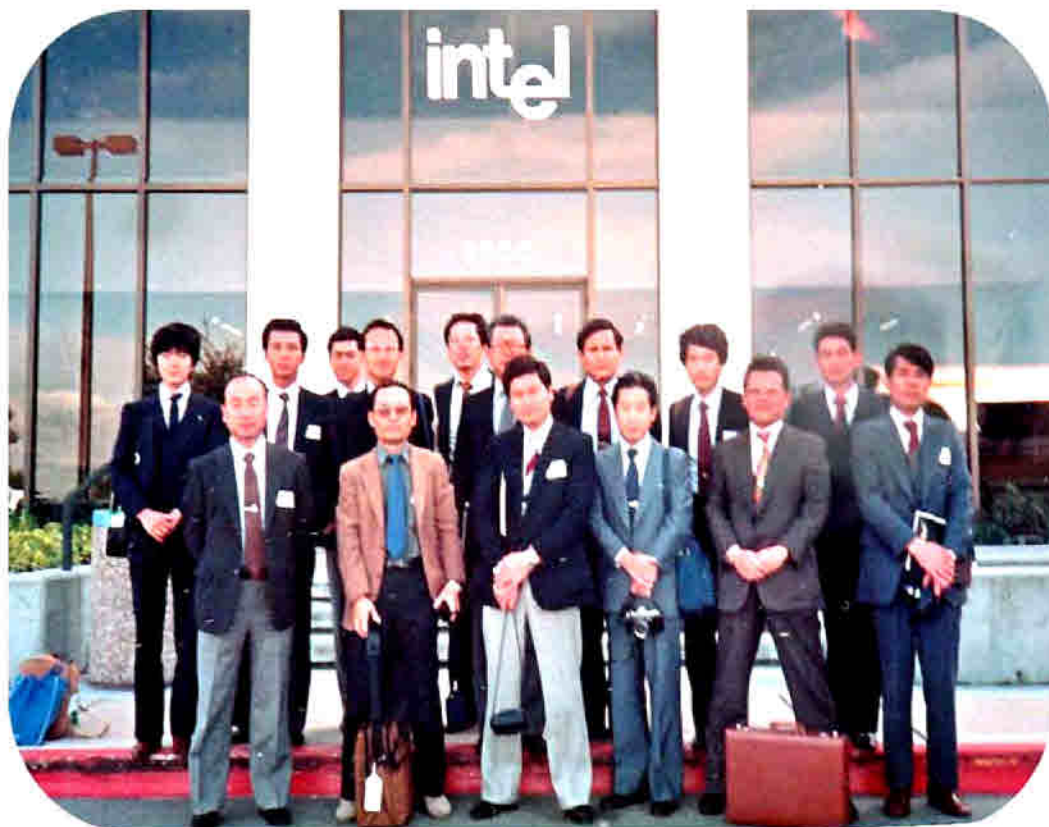
私は1974年に業務で中西部アメリカを訪れていましたが、視察団の事務担当者であったため、ゆっくり観察は出来ませんでした。

研友会の旅ではロスアンゼルス、サンフランシスコ周辺を訪れましたが今もって強い印象の残る旅でした。

パサデナのNASAジェット推進研究所で惑星探査機Voyagerのミッションコントロールルームでの感動は人類の培ってきた科学技術の力強さを知るものでした。6年前に打ち上げられ木星の写真を送ってきたVoyagerと交信しているコントロールデスクと携わる人達の姿を見て不思議な感激を覚えたのです。

その後説明を受けたMeeting Roomには予備として造られたVoyagerの現物や月面旅行用の宇宙服を間近に見る事が出来ましたがVoyagerが創造以上に小さいのには驚きました。

シリコンバレーでは日本とアメリカの企業内研究の有り様が余りにも違いすぎるのではないかと危機感にたじろぎました。



シリコンバレー インテル社

4-3 中国

中国へは1982年秋北京、大連の製造業へ技術指導に行った事がありました。

1989年研友会の旅では7年間の中国の変化には驚きました。

1982年は中国政府の要請を受けて訪中したのですが、24時間監視され行動も厳しく制限されました。人々は皆人民服で百貨店には商品は無く売り子さんばかりが立ち尽くしていました。

1989年のメーデー当日に訪れた北京では日本人を監視警戒する雰囲気は無く、服装は明るく清潔でした。北京大学の

キャンパスには自由を求める学生たちがたむろしビラを貼る態度の強さと明るさは素晴らしい力だと感じました。私たちを案内してくれた学生の親切な対応、私達に訴えようとする言葉の強さ、生き生きとした行動は明確で好感のもてるものでした。

西安には五四運動の当日5月4日に着きました。[五四運動-1919年中国の抗日運動の発端となった事件があつた記念行事]ホテル周辺は軍隊が派遣されていましたが、ホテルから見た民衆のデモは抗日ではなく、明らかに共産党独裁への怒りだったのです。この人民の動きに備えた軍の移動の為私達の西安-上海の移動は南京で打ち切れ南京で一泊することになりましたが、これは又思いがけぬチャンスを与えてくれました。南京では下車しての見物は出来なかったのです



北京 故宮博物館(紫禁城)

が、時間の許す範囲でバスのなかから市内を観察し状況を感じ取ることが出来ました。
私が感じた少し冷たい硬さは、南京の人々の日本人に対する特別な感情があったからかも知れません。

そして1ヶ月後天安門事件が起こりました。案内してくれた快活な人達、明るい表情で案内してくれた人達、共に語り合った人達は皆無事だったのでしょうか。自由を求め積極的に活動していた人達の明るい笑顔は戻っているのでしょうか。逆に日本人も自由の為戦車の前に立ちはだかる事を余儀なくされる恐れは無いと言い得るのでしょうか。

5 新しい研友会

大阪高等技術研修所は1959年(昭和34年)高度経済成長期に産業界の技術者不足、資質向上のニーズに応える再教育機関として官学産の協力の下、大阪工業会を中心として創立されました。解散までの40年間には「特別研修部」も加わり約2万名の修了生を送り出し産業界の発展に寄与してまいりました。



この間に日本社会は高学歴化、少子化、製造現場の自動化など変化し産業界のニーズも減退したため、大阪高等技術研修所は1999年(平成11年)に本科、翌2000年(平成12年)に特別研修部が解散するに至り研友会は存続の基盤を失う事になりました。

しかし「研友会」で培われた友情は消えることなく、新しい「研友会」として活動していることは喜びに耐えません。年間の定期的な会合の他、ゴルフをする人、走る人、史跡を巡る人、詩を吟ずる人、また会員個人の善意にも恵まれ定期的にバーベキューを楽しむ事も続いています。

最後になりましたが私が「研友会」で活動していました期間に、多くの方の助けを頂きありがとうございました。特に井口竹次郎理事長、富久力松理事長、中野所長、大谷専務理事、西田事務局長の方々から受けた薫陶と援助は私の人生に素晴らしい感化を与えていただきました。

感謝

前田貞夫 プロフィール

生年月日 1934年(昭和9年)1月23日生まれ

出生地 京都市 下京区

学歴 1940年(昭和15年) 大阪市立曾根崎尋常高等小学校 入学
1946年(昭和21年) 大阪市立曾根崎国民学校 卒業
1946年(昭和21年) 大阪市立汎愛中学校 入学
1952年(昭和27年) 大阪市立東高等学校(汎愛高等学校) 卒業
1957年(昭和32年) 大阪市立大学理工学部 高分子化学科学校 卒業
1959年(昭和34年) 9月より1年間 高等技術研修所生産機械科



職歴 1957年(昭和32年) 大津ゴム工業(株)(オーツタイヤ(株)) 入社
名神高速道路開通(一部は1963年、全通1965年日本初の高速道路)に備えた高速走行テストに携わった
その後原材料検査、製造現場の品質管理、経営総合企画等
1970年(昭和45年) 大阪工業会入局(業務部)
当時大阪工業会には大阪高等技術研修所、関西生産性本部(経営コンサルタント室)等の業務を担当する部門があった
1982年(昭和57年) 関西生産性本部が分離独立、財団法人格取得、以後関西生産性本部経営コンサルタントとしてオーツタイヤでの経験、高研で習得した知識を基にして企業、団体の指導に携わった
他に中国上海市公営企業数社の工場管理の指導
主な分野は製造現場に於ける問題解決指導、監督者、管理者を対象とした業務改善指導

家族 妻、子供2人、孫4人

備考 五十歳から喫煙者となる 五十八歳で普通車運転免許取得

終戦(1945年8月)前後の思い出

【私の学校生活】

太平洋戦争、終戦、学制改革、カリキュラム変更、男女共学と大きな変動に遭遇した。

スタートは曾根崎尋常高等小学校で卒業は曾根崎国民学校、教育内容も戦時色の強いもので当然、軍事教練が行われた。

中学は旧制最後の年で入学試験があり義務教育ではなかった。

汎愛中学校へ入ったが何故か修了証書には東高等学校となっている。

この六年間に学制改革、大幅なカリキュラム変更、男女共学の実施と当時行政を掌る進駐軍の指示もあって大変でした。

中学時代授業始めにまず教科書の不要部分(戦時中の記述で進駐軍からダメ出しのあった部分)を墨で塗りつぶす時間があった。

一年の時、学制改革が行なわれ我々の次の年の人は新制中学の一期生であり、我々はそれから四年間最下級生で便所掃除をやっていた。

教科書用紙も不足しており新しい教科書の配布は新制中学向けが優先され二年間は戦時中の教科書のままだった。

新しい教科書と云っても新聞紙の様なものでうまく折り畳んで糸で綴じて作ったのです。

カリキュラムの変更も度々行われ、習っていない教科が多い反面3回も習ったものがある。

数学で旧制で習い新制中学のカリキュラムで習い共学になって女子に合わせる為と順列、組合せ、微分積分は3回習った。

同じ学校で学んだ同じ学友と一緒に卒業した時は高等学校となっていた。

私が通った3つの大阪市立の学校は全て大阪の中心部に建っていた。

小学校はお初天神通りに面していたが廃校になった。

中学校はかつて三越の近く淡路町にあったが郊外の放出(はなてん)に移った。

大学は杉本町のキャンパスが当時アメリカ軍に接收されていたため市内八つの元小学校校舎に分散しており、タコ足大学とも云われていたが理工学部は梅田の近く南扇町にあった。

【一年間の田舎生活】

国民学校5年生の時、日本本土がアメリカ軍の空襲にさらされる可能性が出て来たため、都会の児童は地方へ疎開せよとの命令が出た。

親の実家や親戚を頼って個人で疎開した縁故疎開と学校ぐるみ地方の小学校を間借りする集団疎開があった。

曾根崎は滋賀県東浅井郡虎姫町(長浜市虎姫町)の虎姫国民学校へ移り近くの寺の宿坊と旅館に全員寝泊まりしていた。

1944年9月から約1年間、田植え、稲刈り、イナゴ取り、蚕の世話、姉川での鮎釣りなど大阪では出来ない経験をした。

反面、親元を離れた1年でノミ・シラミに悩まされ、淋しく、ひもじく、悲しく苦しい事ばかり思い出される。

この間1945年6月には大阪の家をB29の焼夷弾で焼かれ、8月終戦の数日前、虎姫でアメリカ軍のグラマン戦闘機の超低空飛行からの機銃掃射に遭った。

この時は横の桑畑へ飛び込んで助かったが、この殺されかけた記憶は忘れられない恐ろしいものだった。

今、このアメリカと手を結んで戦争ごっこをしたらしい政治家が我が国に現れるとは信じたくない出来事である。

【梅田は繁華街ではなかった】

小学校と大学はどちらも梅田に近かったのも、戦前、戦後、梅田の変遷を見て来た。

曾根崎小学校の北隣、今梅田花月の敷地には池もある大きな屋敷があり同級生が住んでいた。

甘い物のない時だったから遊びに行ったら、花の蜜をなめていたのは楽しい思い出だ。

阪急東通りは通学路であったが少しの商店があるだけで多くは、しもた屋だった。

大阪駅の南に未だ阪神百貨店などなく、所々畑が混在していた。

戦前、賑やかな所と云えば[心齋橋筋難波]と[新世界]であり北の方では天神橋筋(通称十丁目筋)があり天四、天五、天六の間には幾つかの映画館、芝居小屋があったのを記憶している。

戦中戦後の離合集散で現在、阪急京都線となっている新京阪電車は天六を始発駅とし京都四条大宮の間を京~大阪を最も早く結ぶ線として走っていた。

梅田近くで有名だったのは天神祭りの御輿が通る老松町新地本通りは昔から人通りの多い所であったが、戦後、御輿は地盤沈下の影響を受け松島新地の御旅所へ下るのを止め、今は川上の方へ渡って行っている。

戦後、駅前の焼跡には衣類や食料品の闇市が出来て沢山の人が集まっていたが店の多くは焼けたトタン作りだった。

大学時代、この中の怪しげな飲み屋の2階へ飲みに行ったが30位のヤカン一杯のどぶろく(無論違法)が50円、一度教授をお連れした時「君達いつもこんな所へ来とるのか!」とあきれ顔、帰り際に「これ足しにしてくれ」と千円頂いたが、全て支払っても千円でお釣りが来た。

なにせ私の初任給が7,250円の時代の話ですから。

研友会 と 新研友会 の 概況

大阪高等技術研修所の修了生を会員として1960年9月に発足し各行事は自主運営で活動を始めました。

発足当時は研修所の事務局内に担当がおられ、ご協力の基で活動は順調に続けることができましたが、母体の大阪工業会が大阪商工会議所と合併することになり、大阪高等技術研修所も2000年3月をもって閉所いたしました。

研友会も研修所と共に解散になりましたが、有志により継続するため「新研友会」を2000年6月に立ち上げました。事務所は現副会長の神崎さんの、ご厚意で神崎ビルの1室を提供いただいています。

100名ほどの有志で発足し、現在は60名ほどになりました。(お亡くなりになられたり、高齢で辞められる方もおられますので)

研友会は発足して半世紀も続いた技術集団で、何とか形にしたいそんな思いをビールパーティーの時に、前田さんにお話したら「自分の持っている資料を纏めてみようか」となり今回「前田さんと研友会のヒストリー」を企画しました。会員皆様にも懐かしい思い出になれば幸いです。

15年目を過ぎた新研友会は20年目を迎えられるように頑張ってまいります。

会員皆様のご健康をお祈り申し上げますと共に、会の存続にもご協力をお願いいたします。

自己研讃で絆を深める研友会会員			
役員	本部行事	研究会、同好会	運営委員
会長 中川 勉	★ 総 会	☆ 読 書 会	西尾光平 西尾恵太郎
副会長 神崎純一	★ 記念事業 (海外研、視察)	☆ パソコン研究会	内田宏明 武市 進
〃 内田宏明	★ 見学会 (1泊ゼミ、先端技術)	☆ 詩吟同好会 (研友分会)	山本公士 新 利雄
〃 中谷臣伯	★ ゴルフコンペ	☆ 史跡探訪同好会	増谷俊男 西尾光太郎
〃 増谷俊男	★ 懇親会 (忘年会、ビールP、農園BBQ)	☆ ジョギング&ウォーキング	竹原順治
会 計 奥谷 悟	★ 機関紙《研友》発行		
会計監査 水守寛敏	★ 講演会、講習会		

大阪市福島区大開2-3-5 神崎ビル 2階B

<http://www.okgk-kenyu.com>

西暦 年号	1959 S34	1960 S35	1962 S37	1963 S38	1964 S39	1965 S40	1967 S42	1968 S43	1969 S44	1970 S45	1972 S47	1973 S48	1975 S50	1978 S53	1980 S55	1981 S56
----------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

研友会

研友会

研修所と研友会の主な行事

研友会設立総会・初代会長 小出俊彦氏
 第1回入所式挙行 初代所長中野益利氏
 「本科」生産機械・金属材料・工業技術の3科入所生104名
 大阪高等技術研修所 設立 初代理事長井口竹次郎氏(大阪瓦斯株)



中野所長



2代佐藤会長



4代前田会長



5代大林会長



6代竹村会長



↑ 研修会館



第2研修会館建設状況
(向う側が既設の研修会館)



第1回海外研修

主な出来事

福井謙一ノーベル化学賞受賞
 神戸ポートピア博覧会開催
 モスクワオリンピック日本不参加
 大阪難波CITY開業
 新東京(成田)国際空港開港
 沖縄海洋博覧会開催
 ベトナム戦争終結
 江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞
 オイルショック
 冬期オリンピック札幌大会開催
 大阪万国博覧会開催・天六ガス爆発
 大阪市電廃止
 アポロ11号月面着陸
 川端康成ノーベル文学賞受賞
 3億円事件
 自動車1千万台突破
 阪急北千里駅で全国初自動改札設置
 朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞
 名神高速道路全通(西宮〜小牧)
 初の電卓シャープコンペイト(55万円)
 オリンピック東京大会
 初の衛星中継放送・ケネディ暗殺
 千里ニュータウン町開き
 キューバ危機
 カラーTV放送本格開始
 60年安保
 伊勢湾台風
 皇太子(今上天皇)・美智子様ご成婚

何がどうなれば良いかを考えよう!「前田語録集」富士機械製作所出版
 地場産業見学会(香川県仁王町 太陽発電パイロットプラント)
 研修所20周年記念「修了生技術発表会」開催
 定時総会・第6代会長 竹村芳樹氏
 第1回海外研修「東南アジア産業研修団」
 機関紙「研友」第30号発刊
 1泊ゼミナール(滋賀県希望ヶ丘青年の城)
 講演会「1975年の日本経済情勢を考える」・統計学の基礎 専門技術講座
 研修所創立15周年・特別研修部満10周年式典を挙行
 機関紙「研友」第20号発刊
 大阪高等技術研修所 大阪文化賞受賞
 中野所長叙勲祝賀会
 (研修生全科で876名)
 1泊ゼミナール(比叡山 延暦寺)
 研修所設立10周年記念式典・第2代・富久力松理事長就任
 研修会館「別館」竣工
 機関紙「研友」第10号発刊

定時総会・第5代会長 大林久氏
 「工学研究科」開設 第1回入所生 72名
 「研友」臨時特別号発刊(大阪高等技術研修所における技術再教育の現状)
 修了生懇談会「中野所長を囲んで」
 定時総会・第4代会長 前田貞夫氏
 定時総会・第3代会長 秋山幹雄氏
 「特別研修部」開設 第1回入所生 140名
 機関紙「研友」創刊号発刊
 定時総会・第2代会長 佐藤辰雄氏
 研修会館竣工落成式を挙行

研友会	研友会	研友会
-----	-----	-----

本科40回生および工学研究科34回生の研修事業を終了

第4代・中西義郎所長就任
研友塾発足(前田塾長)

第3代・阿河利男所長就任

第6回海外研修「タイ・ペトナム産業技術研修団」

定時総会・第9代会長 大脇光雄氏

第5代・五十嵐力理事長就任

機関紙「研友」第60号発刊

1泊ゼミナール(静岡県浜松市 武田園芸研究所)

特別講演会「直木賞作家 高村薫」

第4代・倉林育四郎理事長就任

第5回海外研修「第19回ホノルルマラソン大会体験研修団」

澤田氏 阪神タイガース球団代表就任を励ます会開催

定時総会・第8代会長 中川勉氏

第4回海外研修「中国産業技術研修団」

中野所長の名誉所長就任に伴い第2代所長に三谷裕康副所長が就任

研修所創立30周年・特別研修部25周年記念式典を挙げる

1泊ゼミナール(関西電力御坊発電所・道明寺)

技術講演会(住友信託銀行・調査部 佐々木基彦氏)

定時総会・第7代会長 山口俊平氏

第3回海外研修「韓国産業技術研修団」

研修所創立25周年記念・技術発表会開催

第2回海外研修「米国先端技術研修団」

第3代・中條弘毅理事長就任

研修所創立25周年・特別研修部20周年記念式典を挙げる



7代山口会長



2代三谷所長



8代中川会長



9代大脇会長



4代中西所長



第2回海外研修



第4回海外研修



H5.2.27 安芸市営球場にて(中央、澤田球団代表)



第6回海外研修

世界人口60億人突破

瀬戸内しまなみ海道開通

Windows 98発売

明石海峡大橋開通

冬季オリンピック長野大会開幕

○～○集団食中毒各地で発生

地下鉄サリン事件

阪神淡路大震災

関西国際空港開港

製造物責任(PL)法成立

(Jリーグ)開幕

日本プロサッカーリーグ

皇太子・雅子様ご成婚

新幹線「のぞみ」登場

毛利さん宇宙旅行

オートマ車限定免許新設

ソ連邦消滅解体

国際花と緑の博覧会開催

東西ドイツ統一

消費税(3%)導入

昭和天皇崩御(昭和→平成)

瀬戸大橋開通

株大暴落

国鉄民営化↓JRスタート

男女雇用機会均等法施行

チエルノブイリ原発事故

阪神タイガース初の日本一

日航ジャンボ機御巣鷹山墜落

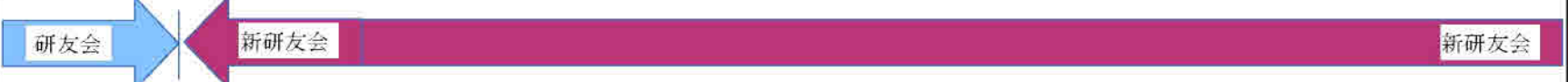
衛星放送スタート

グリコ・森永事件

東京ディズニーランド開園

日本海中部地震

西暦 年号	2000 H12	2001 H13	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20
----------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------



研修所と研友会の主な行事

第9回総会・会員交流忘年会
三木ビーンズ・ドーム見学会（大林式屋根緑化工法）
第8回総会・会員交流忘年会
大阪府立産業技術総合研究所見学会
1泊研修 高野山探訪（町石道を語り部と歩く・普門院に宿泊・写経）
第7回総会・会員交流忘年会
（株きしろ 播磨工場見学会（戦艦大和の大砲 製作旋盤））
第6回総会・会員交流忘年会
中国産業視察（蘇州・上海） 中国研究会主催
1泊研修 講師前田先生（クリモト淡輪研修センター）
顧問 中西義郎氏逝去（78歳）第4代所長（大阪大学名誉教授）
第5回総会・会員交流忘年会（役員改選・全員留任）
1泊研修（黄檗山 万福寺・宇治散策・亀石楼泊）
研友会ホームページ開設 <http://www.okak-kenyu.com/>
第4回総会・会員交流忘年会（中国研究会発足）
大阪工業会（高等技術研修所担当者）お別れ会
大阪商工会議所に大阪工業会を統合
1泊研修（亀岡・保津峡）
淀川ヒューテック（株）工場見学会「小川社長様と懇親会」
副会長・内田弘明・増谷俊男・会計監査・丸井謙一選出・旧役員全員留任
第3回総会・会員交流忘年会（役員改選）
1泊研修（香川県丸亀市・山下眺氏故郷）
読書会特別講演会「やまびこは語る」 神崎茂夫氏自費出版
第2回総会・会員交流忘年会（タイムカプセル研究会↓KGG研究会）
タイムカプセル埋設（淀川化成（株）滋賀工場内） 2010年開封予定
会報「研友」第1号（創刊号） 発刊
第1回総会・会員交流忘年会 初年度は2000年10月末日とし11月より新年度
同好会（詩吟・史跡探訪・ジョギング・ゴルフ） 8種の運営委員会発足
研究会（読書・パソコン・特許戦略・タイムカプセル）
副会長・神崎純一・中谷臣伯・会計・奥谷悟・会計監査・今井敏雄
顧問・中西義郎氏・西田鶴男氏・澤田邦昭氏
「新研友会」設立（会長中川勉・顧問・役員・運営委員選出）
「新研友会」発会式（神崎ビル4階）
定時総会・大阪高等技術研修所閉所により研友会も解散
特別研修部第37回生の研修事業を終了（大阪高等技術研修所閉講）
機関紙「研友」第68号（最終号）発刊



新研友会 中川会長



三木ビーンズ・ドーム



研友会 発会式



（株きしろ 戦艦大和の大砲 製作旋盤

主な出来事

iPhone 発売
下村脩ノーベル化学賞受賞
3氏ノーベル物理学賞受賞
南部陽一郎、益川俊英、小林誠
郵政民営化スタート
耐震強度偽装事件
JR 福知山線脱線事故
新潟県中越地震
地上デジタル放送開始
坂本直子さん優勝
大阪国際女子マラソン大会
小柴昌俊ノーベル物理学賞受賞
田中耕一ノーベル化学賞受賞
欧州通貨統一（ユーロ）
野依良治ノーベル化学賞受賞
USJオープン
デジタル放送開始
白川英樹ノーベル化学賞受賞
2000円札発行
沖縄県名護市
主要国首脳会議（サミット）

2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2020 H32
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

新研友会

新研友会

新研友会発足20周年(研友会発足から60周年)

「私と研友会」前田貞夫発刊

研友会史跡探訪 2016in 台湾(参加者21名)

第16回総会・会員交流忘年会

開創1200年の高野山(世界遺産)を訪ねて

(会計監査・今井敏雄・丸井謙一の両氏退任・後任に水守寛敏氏就任)

第15回総会・会員交流忘年会(役員改選)

神峯山寺・修験道体験

顧問 三谷裕康氏逝去(93歳)・第2代所長(大阪大学名誉教授)

第14回総会・会員交流忘年会

第13回総会・会員交流忘年会(ジョギング同好会→ジョギング&ウォーキング)

姫路城天守閣改修見学会

韓国・済州島「世界遺産とグルメとゴルフツアー」(詩吟同好会主催)

第12回総会・会員交流忘年会

顧問 西田鶴男氏逝去(74歳)(大阪工業会専務理事)

第11回総会・会員交流忘年会(役員改選・全員留任)

(鳥取砂丘・足立美術館・ジャパン緑化見学・皆生グランドホテル泊)

10周年記念「鳥取県・皆生温泉かにツアー」

10周年記念「ビールパーティー」タイムカプセル開封

韓国史跡探訪海外研修(史跡探訪同好会主催)

タイムカプセル掘出し(淀川ヒューテック滋賀工場内)

第10回総会・会員交流忘年会



史跡探訪 2016in 台湾



10周年記念 皆生グランドホテル



タイムカプセル掘出し



韓国史跡探訪海外研修



オリンピック東京大会

北海道新幹線開通(新青森〜新函館北斗)

三重県伊勢志摩

主要国首脳会議(サミット)

Windows 10 発売

梶田隆章ノーベル物理学賞受賞

大村智ノーベル生理学医学賞受賞

集団的自衛権行使容認

3氏ノーベル物理学賞受賞

赤崎勇、天野浩、中村修二

あべのハルカス60階300m

東証・大証経営統合

Windows 8 発売

山中伸弥ノーベル生理学医学賞受賞

東京スカイツリー634m 開業

女子サッカーW杯(なでしこJapan)国民栄誉賞受賞

福島第一原発爆発最悪の「レベル7」

東日本大震災

アナログTV放送終了

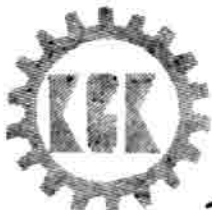
鈴木章・根岸英一 両氏ノーベル物理学賞受賞

Windows 7 発売

裁判員裁判始まる

KENYU

研友 1号~4号 題字

研  友

研友 5号~68号 題字

研(人)友

新研友会 研友の題字